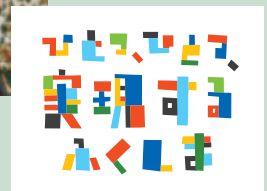




林業福島

No. **710**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 小楡山善継



10 2023

監 修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 森の大王アラワル!



林業アカデミーふくしまへの 人材育成協力

林業・木材製造業労働災害防止協会
福島県支部長 平子作磨

県内における林業の労災事故は、ここ数年減少傾向で推移しているところですが、未だに年間三〇件程度は発生しており他産業に比べて高い発生率となっています。当支部としても、本年度からの新たな林材業労働災害防止計画（死傷災害五割以上の減少）を達成すべく、より確実な対策を県・林業関係団体と連携しながら取り組んでいくこととしており、特に伐木等の特別教育から五年間を経過した林業従事者を対象に「チェーンソーを用いて行う伐木等の業務従事者（スキルアップ）安全衛生教育」を積極的に進めていく計画です。

全国的にも林業従事者の減少、高齢化が進んでいる現状において新規就業者の確保が課題となっており、各県において林業新規就業者の育成機関として林業大学校や林業アカデミーが開設されていることに、林業人材の育成の新たな流れを感じていたところです。福島県においても昨年度に「林業アカデミーふくしま」が開講され、人材育成の新たな場所が出来たことは、林業に携わる者として大きな期待を寄せております。

そこで、当支部が「林業アカデミーふくしま」の人材育成に、どのような支援及び協力が可能なのか、日々思考しながら、講師として研修生に向き合っています。「林業アカデミーふくしま」は、全国的に見ても数県でしか実施していない「林業架線作業主任者講習」を長期研修で実施していることから、就業後の実務経験により「林業架線作業主任者免許」を取得できる研修となっています。また、本年度からは当支部の事務局体制を増員強化しており、特別教育（伐木や車両系林業機械等）や安全衛生教育（刈払機操作等）の基礎講習では伝えきれない、伐木技術の実践的実習を取り入れて伐木技術の向上を図っているところです。なお、次年度についてはロープ高所作業特別教育（樹上における特殊伐倒に必要な林業専門の内容）も当支部で実施すべく検討しています。

林業によらず技術系の作業は経験による技術力向上が重要になってきます。現場での安全作業を確実に実践できる人材育成のため、「林業アカデミーふくしま」の研修に今後も積極的に参画して参りたいと考えておりますので、今までも増して関係機関及び林業関係事業体の皆様の御支援と御協力をお願いいたします。

《も く じ》

とびら	林業アカデミーふくしま研修日誌⑤	7
林業アカデミーふくしまへの人材育成協力	普及指導員通信	8
林業・木材製造業労働災害防止協会	森林管理署メモ	9
福島県支部長 平子作磨	木連だより	10
第6回ふくしま植樹祭を開催しました	木の文化を育む⑤⑤	11
県政コーナー	木材市況・ふくしま東西南北	12
福島県における外来カミキリムシの樹木被害について	はなしのひろば・お知らせコーナー	13
安全なきの生産資材の供給による安心な県産きのこの生産		
令和6年度福島県予算編成に対する要望聴取会		

第六回ふくしま植樹祭を開催しました

ふくしま植樹祭実行委員会

令和五年九月三日(日)、第六回ふくしま植樹祭を南会津郡南会津町の南会津町会津山村道場において開催しました。



参加者全員による記念撮影

今回の大会は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の「五類感染症」へ移行されてからの開催となったこともあり、県内外から昨年より多くの参加をいただいていたの開催となりました。

第一回大会から全国に発信しております「未来へつなぐ希望の森林づくり」をコンセプトとし、「美しいふるさとを継承する 森林と人との絆の森林づくり」を開催目的として、県民参加の森林づくりをさらに進め、未来を担う子どもたちに、美しい森林と自然に囲まれたふるさとを継承するため、多くの方々とともに植樹・育樹活動を行いました。

当日は天候に大変恵まれ、事前申込された約五百名の方の参加をいただきました。

式典は、福島県 佐藤宏隆副知事、ふくしま植樹祭実行委員会 小檜山善継委員長、地元南会津町 渡部正義町長、二〇二三年ミス日本みどりの



育樹活動後の記念写真



植樹活動



育樹活動

大使 上村さや香さん、二〇一七年ミス日本みどりの女神 野中葵さん(須賀川市出身)の五名が登壇し挨拶などをいただき、昨年の第五回開催地であった矢吹町 蛭田泰昭町長から今回の開催地である南会津町長へバトンリレーセレモニーの後、参加者全員による記念撮影を行いました。

式典終了後は、隣接の植樹会場に移動し、南会津町内に育つブナ、カエデ、ヤマザクラなどの苗木計約二千十本の植樹を行い、育樹会場であるキャンプ場周辺部で、私たちが利用する生活域と野生生物の生息域の間を見通しの良いエリアを設ける「緩衝帯整備」として森林内の刈払いを行いました。

植樹・育樹作業終了後には、上村さや香さんのミニコンサートも行われ、植樹祭を盛り上げていただきました。

また、交流イベント会場では、自然観察や丸太切り、薪割り、南会津町の木を使ったゲーム等のブースを設け、時間の許す限り楽しんでいただきました。

今大会は、南会津町のこの時期の気温としては、やや高い中での開催となりましたが、関係者の皆様のご協力により無事終了できましたことを深く感謝いたします。

これからもこうした森林づくりを続けて、広げて、繋げていけるよう努めてまいりますので、引き続きご協力をよろしく願います。

県政コーナー

福島県における外来カミキリムシの 樹木被害について

福島県森林保全課

国際自然保護連合の「世界の侵略的外来種ワースト100」に認定されている。

(4) 原産地

中国／朝鮮半島

(5) 被害確認樹種

トチノキ、カツラ、アキニレ、ヤナギ等

(6) 被害発生地域

県内では、令和三年に白河市で初めて確認。令和四年末時点で、県北、県南地域を中心に県内二〇市町村において発生が確認。県外では、茨城県、神奈川県、兵庫県等の一部地域で確認されている。

令和三年、福島県内において、外

来カミキリムシのツヤハダゴマダラカミキリと国内初めてとなるサビイロクワカミキリが発見されました。このことは全国的に報道され、大きな話題となりました。

外来カミキリムシの侵入が確認された街路樹や公園等においては、枯れ枝の落下による危険性の増大、植栽木の枯死など深刻な被害が発生しており、被害の拡大防止に向け、情報の収集とその対策が急務となっています。

今回、県内で確認されている二種の外来カミキリムシに加え、隣接する県で被害が確認されているクビアカツヤカミキリの特徴と被害の状況等について紹介します。

○ツヤハダゴマダラカミキリ

(1) 特徴

体長（成虫） 約二〇～三五ミリ



ツヤハダゴマダラカミキリ

光沢のある黒い体色に白い斑点

(在来ゴマダラカミキリと似ている)

(2) 生息

幼虫は樹木の内部で過ごし、成虫になると木から出てくる。脱出孔は一〇～一五ミリの丸い孔。成虫は五～十月に出現し、産卵を

行う。

(3) 被害

樹木上部から被害が進むのが特徴。幼虫が樹木内部を食い荒らすため、被害が進行すると木が枯損するおそれがある。



カツラの木の上部枯損

○サビイロクワカミキリ

(1) 特徴

体長（成虫） 約二九〜三七^{ミリ}メートル
 サビ色の体に白い斑点があるのが特徴。上翅基部には顆粒状の突起がある。

(2) 生態

幼虫は二年程度樹木の内部で過ごし、成虫になると木からでてくる。成虫は七〜九月頃に出現し、主に夜間に交尾や産卵を行う。

樹皮に卵を産み、その卵を腹部から出す体液で塗り固めマウンド状の産卵痕を形成する。

(3) 被害



サビイロクワカミキリ

幼虫が樹木の内部を食い荒すため、被害が進行すると木は枯死してしまう。

(4) 原産地

中国、インド、ミャンマー、タイ、カンボジアなど

(5) 被害確認樹種

イヌエンジュ、エンジュ

(6) 被害発生地域

令和三年度に郡山市で初めて確認。令和四年末時点で、県中地域を中心に県内十九市町村において発生を確認。県外では確認されていない。

○クビアカツヤカミキリ

(1) 特徴



イヌエンジュの摂食痕

体長（成虫） 約二〇〜四〇^{ミリ}メートル
 胸部（クビ）が赤色。身体全体はツヤのある黒色をしており、触覚も黒色

(2) 生態

幼虫は樹木の内部で二〜三年過ごし、成長する。成虫になると木から出てくる。

成虫は六月ごろに出現して交尾や産卵を行なう。一匹のメスが一、二個以上産卵した事例もあるほど繁殖力が強い。

(3) 被害

幼虫が樹木の内部を食い荒すため、被害が進行すると木は枯死してしまう



クビアカツヤカミキリ（森総研HPより）

(4) 原産地

中国、モンゴル、朝鮮半島、台湾、ベトナム

(5) 被害確認樹種

サクラ類やモモ、ウメ、スモモなどのバラ科樹木

(6) 被害発生地域

現在、県内では確認されていないが、県外では、令和四年末時点で、隣県の茨城、栃木、群馬県など十三都府県で被害が確認されている。

外来カミキリムシ被害は、分布が拡大する前に早期駆除することが最大の対策となります。しかし、これらカミキリムシについては、使用できる登録薬剤が少なく、最も有効な対策は、幼虫が樹体内にいる間に伐採し、焼却もしくはチップ化することとされています。

サビイロクワカミキリやクビアカツヤカミキリについては、根株にも幼虫がいることが多いことから根株も含め処理し、また、ツヤハダゴマダラカミキリについては、樹木上部に産卵することから枝葉も処理することが適当とされています。

外来カミキリムシを発見した場合は、各市町村や地方振興局、農林事務所等に情報提供願います。

安全なきのこ生産資材の供給による 安心なきのこ生産

(公社)福島県森林・林業・緑化協会 きのこ振興センター

平成二三年三月に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故から十二年半が経過しましたが、安心な県産きのこを生産するには、安全なおが粉等の生産資材を確保することが重要です。きのこ栽培には大きく原木栽培と菌床栽培がありますが、どちらの栽培方法を行う場合でも、資材の安全性を確認し、資材が指標値以下であれば、生産物であるきのこが基準値を超えることは、まずありません。

当センターでは、放射性物質の影響により生産資材が購入しにくくなった生産者のために、国の補助事業である安全なきのこ原木等供給支援事業の事業主体となり、主に菌床栽培に取り組んでいる生産者を対象におが粉等生産資材の斡旋販売を行ってきました。斡旋するおが粉等については、当センターで導入した放射性物質測定装置で分析を行い、安全なことを確認してから生産者へ供給しています。このようにして生産者が安心してきのこを栽培し、消費者も安心して安全なきのこをおいしく食べられるよう取り組んでいきます。

平成二四年四月から令和五年三月三十一日までに当センターの放射性物質測定装置で検査したおが粉・チップ(斡旋販売資材)についての結果を表-1にまとめました。

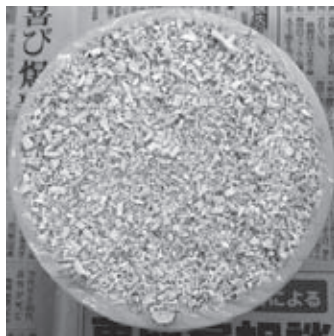
検査の合計数は一、八四六件で、これまで指標値を超えたものはありません。震災当初の平成二四年度と平成二五年度の二カ年は一〇〇Bq/kgを超えるおが粉・チップも九検体見られましたが、平成二六年度以降一〇〇Bq/kgを超過する検体がなくなり、さらに、平成三〇年度以降は、指標値の四分の一である五〇Bq/kgを超える検体もありませんでした。

繰り返しになりますが、安全なきのこ生産においては、生産資材の安全性の確認が重要です。結果的に

生産されたきのこの安全は一〇〇％達成しています。当センターではこれからも検査を継続し、安全なおが粉等の供給に努めて参ります。



分析作業



分析資料(おが粉)



分析資料(チップ)

表-1 分析実績(おが粉・チップ)

(単位:件)

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	合計
200Bq/kg超過	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
101~200Bq/kg	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
51~100Bq/kg	11	6	8	4	1	1	0	0	0	0	0	31
ND~50Bq/kg	220	231	220	206	133	155	150	193	116	105	77	1,806
合計	236	241	228	210	134	156	150	193	116	105	77	1,846

※培地・おが粉・チップの指標値:200Bq/kg(H24.3.28付け農林水産省通知)



自由民主党福島県議会議員会

令和六年度 福島県予算編成に対する要望聴取会

福島県林業会議

福島県林業会議は、森林の有する多面的機能の発揮と林業の持続的かつ健全な発展に寄与することを目的に設立し、林業関係十団体で構成しています。

九月五日、令和六年度福島県予算

編成に対する県議会各会派による要望聴取会が開催され、当会議では森林・林業の再生なくして福島県の東日本大震災からの復興はないとの強い思いから、更に復興の加速化を図り、森林を将来の世代に健全な姿で引き継いでいけるよう、表に掲げる「第二期復興・創生期間における森林林業の再生への取組の継続」など十項目を要望しました。

県議会各会派からは「森林の果たす役割は益々重要になってきており、要望実現のため努力する。」との力強い回答をいただきました。

【令和6年度福島県予算編成に対する要望事項】

1	第二期 復興・創生期間における森林林業の再生への取組の継続	
	<ul style="list-style-type: none"> ふくしま森林再生事業予算の確保 広葉樹林再生事業予算の確保 放射性物質の動態調査の継続と一元的な管理 	など
2	林業担い手及び林業事業者の確保・育成	
	<ul style="list-style-type: none"> 「林業アカデミーふくしま」などを通じた林業人材育成・定着のための継続的支援 新規就業者の定着率向上のための施策推進 	など
3	森林資源の循環利用促進	
	<ul style="list-style-type: none"> 計画的な皆伐再造林の促進 県産材利用の推進及び県有施設の木造木質化の推進 商業施設等民間建築物の木造・木質化に際しての経費の助成 森林認証の取得支援、森林由来J-クレジットの活用に向けた取組 	など
4	福島森林環境基金制度の円滑な運用	
	<ul style="list-style-type: none"> 皆伐再造林による森林資源の更新、木材需要の拡大、森林づくり意識の醸成など、本県独自の多様な取組が可能な基金制度の円滑な運営 	
5	県民参加の森林づくりの推進	
	<ul style="list-style-type: none"> ふくしま植樹祭の開催支援 森林づくり指導者の養成と森林環境学習の推進、森林環境教育ポータルサイトの内容充実 森林づくり推進拠点施設の充実 	など
6	避難指示区域等の森林管理の具体的取組の推進	
	<ul style="list-style-type: none"> 避難指示区域等の森林管理及び安全・安心な木材供給システムへの着手 環境放射線の影響低減のための実証試験の継続実施 	など
7	森林経営管理制度における市町村等への支援強化	
	<ul style="list-style-type: none"> 市町村を支援する仕組み構築と実施 市町村、林業経営体のIT技術活用に向けた支援 森林環境譲与税の活用促進 	など
8	森林の適正な整備に向けた支援	
	<ul style="list-style-type: none"> 特定母樹等の種苗の供給体制整備と苗木生産者への支援 森林整備面積の拡大を図る円滑な事業推進、造林補助制度の弾力的運用など降雪期間に配慮した取組及び林業専用道、森林作業道等の計画的整備・長寿命化支援 下刈り作業軽減の取組強化 	など
9	きのこ等特用林産物の生産振興	
	<ul style="list-style-type: none"> 高騰した生産資材の導入負担軽減、GAPの取得支援 県オリジナル品種の産地化推進、会津桐の振興 	など
10	治山施設等の整備	
	<ul style="list-style-type: none"> 防災・減災・国土強靱化のための5か年加速化対策の基づく対策の推進 山地治山対策や海岸防災林再生の推進及び維持管理予算の確保 	など



福島県議会県民連合議員会



日本共産党福島県議会議員団



公明党福島県議会議員団

林業アカデミーふくしま研修日誌⑤

福島県林業研究センター

就業前長期研修五ヶ月目の八月の研修では、レーザー測量や林業ICT・森林GIS、ドローン技術など、スマート林業について学びを深めていきました。

○八月の研修内容

「周囲測量」の実習では、GPSを用いた測量やレーザー測量の方法を学びました。コンパス測量と比較すると、作業効率が格段に上がることを研修生一同実感していました。

「間伐（選木実習）」では、スギ林とヒノキ林で間伐する際の選木の方法を学びました。

「チェーンソー伐木造材技術」の講義では、実際に立木の伐倒を行いました。緊張感の中で周囲の状況や待避場所の確認をしっかり行い、丸太での練習同様受け口と追い口を作り伐倒しました。実践では木の一本一本重心が異なるため、研修生たちは狙った方向に伐倒することの難しさを実感していました。

「林業経営の基礎」の講義では、

浜通り・中通り・会津の三地方の林業事業体や森林組合を回り、経営に関するお話を伺いました。事業内容には地域ごとの特色があり、研修生たちは就業を意識して話を聞いていました。

「放射性物質対策」の講義では、福島県内の森林で作業するにあたり、重要な放射能や放射線の基礎的な知識を学びました。

また、「林業ICTと森林GISの基礎」の講義を三日間行いました。高精度で測位が可能なRTK-GNSSを使用した測量を行い、QGISで地形図の確認や林木の樹種判別など、データの扱い方を学びました。最終日には三日間の総括として、それらを活用して人工林を主伐する計画を立てて全員で説明し合いました。「ドローン技術」では、苗木運搬用の大型ドローンの操縦とドローン全般の知識を学びました。

○研修生の感想 山田聡一朗さん

四月に入講してから早くも五ヶ月

が経ちました。この五ヶ月で様々な資格や森林・林業に関する知識・技術を学ぶことができました。まずは、ご指導・サポートして頂いている講師の皆様、森林組合・事業体の皆様、関係者の皆様のご協力があり、安全に充実した講義を受けさせて頂けていることに感謝申し上げます。

さて、八月の研修では周囲測量・選木実習・リスクアセスメント実習・林業経営の基礎・放射性物質対策と様々な講義がありました。その中でも「スマート林業」と呼ばれる林業ICTと森林GISの基礎・ドローン技術の講義が楽しく印象に残っております。

林業ICTと森林GISの基礎の講義では、実際に高精度な測位が可能なRTK-GNSSで測量しコンパス測量との比較や、QGISを操作し地形図に樹種や樹高、既設路網のデータを重ね図面を作成し、新規作業道の追加やグループに分かれての施業計画の提案を行いました。

ドローン技術の講義では、高解像度カメラを搭載したドローンやアカデミーに導入して頂いた苗木運搬用大型ドロー



レーザー測量をする研修生



QGISを使って主伐計画の説明をする研修生たち

ンを操作し、プロポ（操作端末）の使用方法、操作時の注意点、無人航空機の飛行ルール、ライセンス区分などを学ぶことができました。今後人口がさらに減少していく中でこれらの技術は林業の現場でも省人化、コスト削減、安全性の向上に役立つと考えております。自分自身も情報感度を高め様々な知識・技術を吸収し、就職先で貢献出来るように日々努力していきたいと思っております。

最後に、九月にある架線集材の資格取得や十月の二度目のインターンシップと、本格的に就業に向けて動き出しておりますので、福島森林を守る林業従事者になれるよう、研修生の仲間とともに講義・実習に集中して取り組んでいきたいと思っております。

「緑の教室」の実施状況について

福島県会津農林事務所

林業普及指導員 木村 充

1 はじめに

市町村や林業事業者職員は、地域林業の中心的役割を担うことが期待されています。

新たに採用・配属された方は、森林・林業に関する知識や技術を早期に習得する必要があることから、会津農林事務所では、会津流域林業活性化センターと連携して、各種講義や研修会を「緑の教室」として開催しておりますので、その取組を御紹介します。

2 取組の状況

令和4，5年度緑の教室実施状況

開催年月日	講義内容	講師	受講者数(人)
R4.7.14	会津の森林・林業をよくするための基礎知識	会津農林事務所	26
R4.10.12	森林調査の方法について	会津農林事務所	14
R4.12.13	ふくしま森林クラウド操作研修	会津農林事務所 (株)パスコ	10
R5.8.1	森林測量の方法について	会津農林事務所 (株)パスコ	14
R5.8.31	山地災害への対応と復旧について	会津農林事務所	12
R5.9.27 (予定)	野生きのこの生態及び同定について	会津農林事務所 福島きのこの会	未定

近年は年3回の計画で実施しており、林業普及指導員が協力し、森林・林業の基礎知識に関する講義の他、実践的な研修として森林調査や周囲測量方法、ふくしま森林クラウドの操作方法について研修を行っております。

今年度第1回目の講義では、最新のGNSS測量の現地実習を実施し、旧来のコンパス測量に比べ約2倍の効率であることを体験したほか、目標物までの距離と方向を案内するナビゲート機能により、既設杭を探索する実習も行いました。研修生の皆さんは、森林内の足場の悪い状況に苦戦しながらも、技術習得に向けて熱心に受講されておりました。

第2回目の講義では、地すべり防止工事（野辺沢山地区）の現場を活用した現地実習により、復旧工法や観測調査について理解を深めると共に、暗渠ボーリングや集水井等の集水効果を確認しました。研修生の皆さんは、復旧規模の大きさに驚かれた様子で、疑問点について熱心に質問されておりました。



GNSS測量の現地実習の様子

3 今後の展開

「緑の教室」は当事務所において、重要な林業普及活動に位置づけております。研修効果を高めるため、研修生に役立つ内容で早期に実施することが肝要ですが、他業務との兼ね合いや講義準備等により、現在は実施時期が夏場以降となっております。今後は研修生の意見を伺って研修内容の充実を図ると共に、早期の研修実施に努めてまいります。

また、林業アカデミーふくしまでは様々なメニューの短期研修が通年で実施されているため、「緑の教室」をとおして専門的な内容にも興味を持っていただき、短期研修受講の契機となるよう、内容も検討したいと考えております。



地すべり防止工事の効果確認の様子

森林管理署×モ

大戸地区における 山腹の復旧状況について



会津若松市の南西部に位置する大戸地区の三寄山国有林は、これまで度々自然災害の被害を受けてきた地域となっています。当署では、閼川集落に向かう市道の安全を確保する観点から、昭和四五年から治山工事

を実施しています。平成二三年四月には東日本大震災の余震により山腹崩壊が発生し、既設施設が被災したことを受け、従前からの対策に引き続き、令和三年度以降も次の対策工事を実施しています。

令和3年度からの対策工事

○連続長繊維補強土工

高い引張強度を有するアラミド繊維挿入グリッド状ベルトを格子状に敷設して斜面の安定化を図る工法で、被覆金網と併用して斜面の表層浸食防止機能も備えます。さらに、緑化工と併用することで、格子状の帯部を含めた斜面全面の緑化が可能であり、景観に配慮した法面表層保護工です。

○ロープネット工

ワイヤーロープを法面に密着して張り、点在する浮石を押さえこむ落石予防工です。

○鋼製枠土留工

鋼製の枠組の中に石礫や土砂を詰め、外力に抵抗させようとする枠で、枠組みユニット部材の組合せによって、部材の継手が自在となっており、ある程度の不同沈下にも対応できる工種です。

○植生マット工

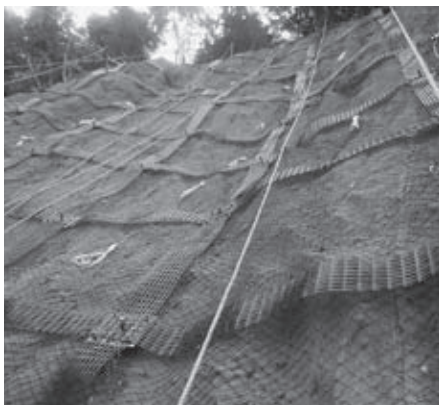
アンカーピンを用いてマットを法面に密着して張り付けるだけで法面緑化と自然環境の復元を可能にした工種です。



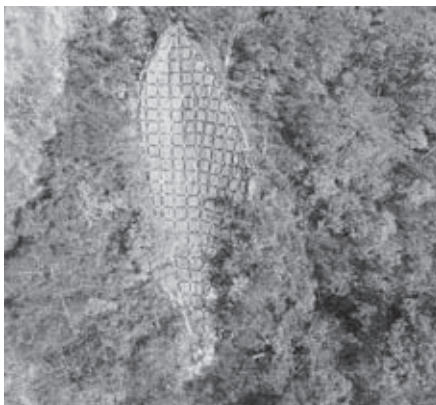
大戸地区崩壊斜面（施工前）



RCM地山掘削工（掘削状況）



帯状法面材設置工



大戸地区崩壊斜面（完成）

〜結びに〜

近年、地球温暖化の影響により雨の降り方が変化しています。局地的な線状降水帯が発生し、全国各地で甚大な豪雨災害が記録されています。自然災害の対応に当たっては、被害箇所早期復旧とともに、被害拡大の未然防止を図るための予防治

山が必要となってきました。当署では、これまでの工事の効果について確認するとともに、将来に渡って計画的に治山工事を進めていく必要があると考えています。今後とも、会津若松市などの関係機関と協力しながら、引き続き、大戸地区での治山事業に取り組んで参ります。

木連だより

木育の推進 木製遊具のモニター実施中！

福島県木材協同組合連合会

福島県木材協同組合では、福島県からの委託（木とのふれあい創出事業）を受け、県内の幼稚園や保育所などへ木製遊具を一定期間貸出を行うモニター事業を実施しています。この取組は昨年度から開始されたもので、好評により昨年の14施設から30施設に対象を拡大し取り組んでいます。

貸出に使用する木製遊具は、当連合会及び会員の有する製品の中から、4種類を1セットとし1施設当たり2週間、幼稚園等で使用して頂き、園児たちの使用感や課題等をモニタリングし、今後の木育活動の推進に役立てることとしています。

モニター事業は12月まで続きますが、現在までの取組状況を報告します。

[貸出遊具の一例]



くねくね橋



マルプロ



コロQ



フラワーカスターネット

○実施施設 幼稚園5、保育園15、認定こども園外10 計30施設

○園児たち反応等

- ・木の香りを楽しんだり、重さを感じたり、木の滑らかな感触を楽しんでいた。
- ・子ども達の新たな遊び方の発想を見ることが出来て良かった。
- ・木製遊具は保護者にも好評であった。

○課題・要望等

- ・入手しやすい価格の商品があると良い。木の良さを生かしつつ軽量化して欲しい。
- ・重さがあるので移動が大変。遊ぶときに落としたり危ない。
- ・小さい子どもが手に取って遊べる教材があると良い。

[遊具で遊ぶ様子]



10月28日には同事業によりフォレストパークあだたらで「木育インストラクター養成講座」が開催されます。（詳しくは県林業振興課ホームページ参照）

県木連では、これらの事業運営等を通して様々な機会を捉えて木育の推進に取り組んでまいります。

木の文化を育む⁵⁵

アロマで育む風土の魅力〜ゆず香る文化の里の再興〜

(ナラノハ / NARA-ROMA)

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授 阿部 恵利子

○はじめに

福島県の浜通り地方に位置する檜葉町は、緑豊かな阿武隈高地と太平洋に囲まれた自然豊かな地域です。

東日本大震災時、檜葉町は全町避難を余儀なくされましたが、二〇一五年九月以降、全ての避難指示が解除され、復興に向けた様々な取り組みが進められています。

○復興に向けた想い

檜葉町の豊かな自然を活かし、香りのプロダクトを通してその魅力を発信している『ナラノハ / NARA-ROMA』(檜葉町)プロジェクトマネージャーの安達有希さんは、震災以降、友人の故郷である檜葉町を共に元気づけたいという想いから、仮設集会所で様々な企画を通して人と人が触れ合える活動を行ってきました。こうした取り組みを通して、有志で立ち上げた新たなプロジェクト『ナラノハ』は、町づくりをサポートし、さらなる発展に向けて邁進しています。

○檜葉町の魅力を発信

『ナラノハ』のプロジェクトでは、檜葉町のPR番組「ナラハチャンネル」を起ち上げ、豊かな自然や歴史、文化、人々の魅力を様々な角度から発信しています。安達さんは番組の企画・構成のほか、地域の活性化をめざした交流イベントや郷土文化を基にした活動を推進し、「アロマ＝香り」を多角的な視点で捉えたブランドプロジェクト『NARA-ROMA』を新たに展開しました。檜葉町の「アロマ＝香り」で、地域の魅力を発信します。

○故郷の香りを届ける

檜葉町の温暖な気候で育まれた柚子は代表的な町の特産品となっています。冬になると町を黄色く彩り、季節の風物詩として知られています。こうした文化的背景より、NARA-ROMAのブランドプロジェクトでは「避難を余儀なくされ、町を離れて暮らす方々に、故郷の香りを届けたい。」という優しい想いを

込めて、柚子の香りのマルチアロマバームやアロマスプレーを商品化しました。天然成分一〇〇%の清々しい香りで、リフレッシュしたい時におすすめのアイテムです。

○循環型社会とコミュニケーション

NARA-ROMAの製品には、柚子の果皮から抽出された精油が使われています。原料の果皮は地元の柚子農家から廃棄する果皮を譲り受け活用しています。こうした取り組みは限られた資源を有効に活用し、循環型社会を構築しようとする、NARA-ROMAのビジョンに基づいた取り組みの一つです。

精油を抽出する柚子の果皮からワタを取り除く作業は、地元のお母さんたちが集まり会話を楽しみながら作業を進めます。お母さんたちの笑い声が聞こえる作業場は、地域コミュニティにもなっています。

○新たなアロマの創出

NARA-ROMAでは、通年供給できる新たなアロマの創出を目指して、二〇二〇年より、震災以降使用されていない耕作放棄地を丁寧に手入れ、土づくりをし、レモンタイムやローズマリーの栽培を始めました。檜葉産ローズマリーと柚子果皮を使用したハーブソルトは、ハーブプロジェクト第一弾のアイテムです。ハーブ畑の新しいアロマが檜葉町の魅力あ

る風土を育みます。

○まとめ

柚子の可能性を追求し、二〇二一年から開発に取り組んできた「ノンアルコール柚子ジン」がこの秋商品化されました。Bar&Cafe Herbalist(郡山市)が調合を監修した爽やかな香りと風味の良い味わいは、大変好評を得ており、同店では柚子ジンのモクテルやカクテルも提供しています。人と人との繋がりがや支え合いから生み出される、NARA-ROMAのブランドプロジェクトのさらなる発展が期待されます。



ノンアルコール柚子ジン



柚子の香りのアロマバームとアロマスプレー

県森連いわき共販における木材市況（9月分）

令和5年10月1日
福島県森林組合連合会

(単位：㎡当り千円)

素 材						素 材						
樹 種	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	摘 要	樹 種	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	摘 要	
スギ	4.00	9下	12.0	11.5		カラマツ	4.00	12下				
		10~13	14.0	13.5				13~14				
		24上	9.2	8.5				16上				
	3.65	16上				クリ	4.00	16上				
		24上	9.2	8.6			3.00	16上				
	3.00	9下	10.2	8.0		モミ	4.00	20上				
		10~13	12.0	11.5								
		14~16	10.9	10.3								
		18~20	12.8	12.5								
	6.00	22上	12.5	10.6								
2.00		16上	7.0	6.0								
ヒノキ	4.00	10~13				市況概要と市況展望 入荷は減少しています。販売量は1,378㎡（前年同月比46%）でした。 市況は、入荷量減少の影響もありスギ3m材は応札あり単価が回復傾向で動きが良いです。スギ3.65m、4.00m中目材も同様です。小径材も引き合いあり活発に取り引きされています。 今後も単価回復の状況が続くと思われるので、出材よろしくお願い致します。						
		14~16	14.0	13.5								
		18~20	16.3	15.5								
		22上	16.3	15.0								
アカマツ	4.80	16~20				行事とお知らせ 10月17日(火) 第26回良質材展示会 県森連の木材市況は、県森連のホームページでもご覧いただけます。 福島県森林組合連合会 木材市況 <input type="button" value="検索"/>						
		4.00	18~22									
	3.00	24上										
		16~22										
	24上											

福島県の海岸線の延長は約一六三キロに及び、古くから海岸防災林が造成されてきました。
海岸防災林は潮害、飛砂・風害を防ぐなど生活環境の保全に寄与するほか、美しい景観を形成するなど地域の憩いの場として親しまれてきました。平成二三年三月十一日の東日本大震災で発生した津波により、県全体で二六一ヶ所あった海岸防災林のうち六〇ヶ所に及び一五五ヶ所が流失する大きな被害を受けました。
そのため県では、従来の潮害、飛砂・風害防備などの災害防止機能に加え、津波エネルギーの減衰や津波漂流物の捕捉などの機能を持たせた、震災前の四倍となる林帯幅二〇メートルの海岸防災林造成を進めています。
相双地方では、相馬市、南相馬市、浪江町、双葉町、富岡町、楡葉町の二市四町で約六〇〇ヶ所の海岸防災林を造成する計画としており、令和五年度末には浪江町を除く二市三町で造成が完了する見込みです。
海岸防災林は造成で完了ではな



成長する海岸防災林
南相馬市鹿島区北老地区

く、植栽したクロマツなどが大きく成長することで災害防止などの機能を発揮します。そのため、植栽木が雑草などに被圧されないように実施する下刈りのほか、植栽木の成長により混み合ってきた場所では生育をさらに促進させるための本数調整伐（列状に伐採）などを継続して実施する必要があります。
今後は、浪江町の海岸防災林の造成を速やかに完了させるとともに、適切な植栽木の維持・管理を実施し、早期に海岸防災林の再生を進めてまいります。



相双地方の海岸防災林について

福島県相双農林事務所 石井康洋

はなしの
ひろば

原風景

「今年の稲作は、どうですか」とOさん（南相馬市原町区在住）に尋ねた。「まあまあのお出来ですかね。飼料米だけどね。」もうここ七年ほど、この飼料米を生産しているという。「主食用米を生産しても、風評被害で消費者から拒否されるよりは、この選択枝は間違いでなかったかと思っただけどね…」その間違いではなかった理由を聞くと、氏のこんな思いが返ってきた。「七年前、飼料米の収穫を始めて迎え、この水田の光景を目の当たりにした時、自分のふるりの原風景が戻ってきた感じがして、稲作の光景でも、日常の暮らしが少しずつ戻ってきたと実感したよね」原発事故から五年が経過した十月のことだった…。

また、この光景を作っている飼料米は、「景観作物」のようである。景観作物は、田畑の荒廃を防ぐために栽培する作物や景観植物（花卉類）だが、観光客の集客も兼ねて、菜の花やひまわり迷路を作っている地域も多い。しかし、この飼料米の景観は、誘客目的ではない。「ふるりの原風景が戻ってきた」という氏のそのひと言がすべてである。少しずつ復興へむけ、ゆるやかに歩を進めてきているからこそその実感の言葉に思える。

「実るほど頭を垂れる稲穂かな」十月には見慣れた風景。だが、氏のような思いでこの景観を眺めている人が、私達と同じふるりにいることを、決して忘れないでいようと思う収穫の秋である。

(都)

表紙の写真



「森の大王アラワル！」

第37回ふくしま緑の写真コンクール
金賞
受賞者 梅津直樹さん（福島市）
撮影場所：只見町

編集

福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会

発行人

福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究・整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
（福島市中町五番一八号県林業会館内）

飯沼隆
陽光社印刷株式会社
（定価 一〇〇円）

お知らせコーナー

第48回福島県林業祭を開催します

第48回福島県林業祭を、森林・林業の役割やその重要性、林業という仕事の魅力について、林業を知らない皆さまや、これから林業の担い手となる世代の皆さまにも、関心を持っていただける内容で開催します。ご家族連れでも楽しんでいただけますので、皆さまのご来場をお待ちしています。

日時 令和5年10月21日(土) 9:30~15:30

会場 福島県林業研究センター
(福島県郡山市安積町成田西島坂1)

入場料 無料

イベント 木工体験、林業アカデミーふくしまPRブース、ツリークライミング、森のオークション、チェーンソーアートショー、ふくしま伐木チャンピオンシップ(チェーンソー競技大会)、きのこまつり、森林の仕事ミニガイダンス、木工品や農産物販売 等

来たれ、
林業祭!!



詳細：<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/ringyosai/>

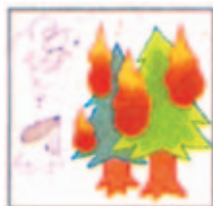
お問い合わせ：県庁森林計画課 電話 024-521-7426 FAX 024-521-7543

主催：福島県林業祭実行委員会 後援：郡山市 協賛：(一財)福島県林業会館



備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



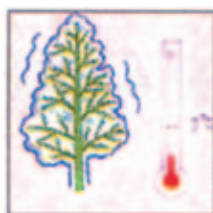
4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)
または最寄りの森林組合

イワフジのGPシリーズ
グラップルプロセッサ

GP-35B

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

製品情報



傾斜地に対応した全旋回チルトプロセッサ

- ・最大38度のチルト機能により傾斜地での作業性が大幅に向上
- ・全旋回ローテータにより油圧ホースが絡む心配不要
- ・サイドカッタ解除機能により曲がり材に対応
- ・大容量油圧システムと強化型送りモータによるパワフルな送材
- ・GP-8コントローラを搭載
- ・新開発のスタッドローラ(オプション)

For the future with forest

イワフジ工業株式会社

<http://www.iwafuji.co.jp/>



(仙台支店) 〒981-3133 宮城県仙台市泉区中央1丁目16-6
TEL 022-347-3689 FAX 022-347-3699
(本社・工場) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1
(支 店) 札幌・東北・仙台・関東・中部・関西・中四国・九州



東北コピー販売

福島office 福島市御山一本松13番5号 TEL 024-559-0245
郡山office 郡山市富田町後久保60-1 TEL 024-961-1961

<https://t-copy.co.jp>



人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

ZHM1550RR



刈幅：1500mm 出力：27.5kW



SR3100



破砕径：200mm 出力：18.4kW

For Professional



GZ3950EZ
排気量 39.1cc

GZ4350EZ
排気量 43.1cc



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店

(有) うねめ 林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1